

2022年
8月1日
第458号

JR東海労



http://jrtoukairou.sakura.ne.jp/

〒100-0005 東京都千代田区丸の内3-6-5

TEL 03-3201-0350 FAX 3201-0351

Eメール jrtoukairou@yahoo.co.jp

JR東海労働組合

発行人 木下 和樹

編集人 高山 浩

診断書強要中労委命令は不当だとして提訴！ 本橋さん、西さん仮処分は1回の審尋が終了

東京車両所分會・新幹線地本・本部は7月29日、診断書強要中労委の命令は不当だとして、国を相手取り行政訴訟を提起しました。

中労委は、労働協約の団交事項に該当しない事項は「労使慣行」に従い、協約改訂交渉や新賃金等交渉で議論するべきもの、幹事間折衝は実質的に機能しており、会社の対応として欠けるところはないとし、協約改訂交渉や新賃金交渉、幹事間折衝の問題点を全く無視し、会社の主張のみを採

用するという不当命令を出しました。中労委命令を受け入れることは、会社の裁量で団体交渉を拒否できるという前例をつくることに繋がるとして、提訴に至りました。本部本橋書記長は7月7日、本人の同意なき一方的な54歳原則出向は不当だとして、東京地裁に東京就業検査車両所への復職を求め、出向取消仮処分を申し立てました。

第1回審尋は7月26日に行われました。本橋書記長は「会社は出向者に労働協約第6条の勤務時間中の組合活動を適用しないことを知りつつ、私を出向に出すことは権利の侵害である。これは組合活動の妨害であり不当労働行為である。出向によって年間休日が8日程減り、大きな不利益だ」と強く主張しました。新幹線関西地本西組織

部長は7月6日、関西新幹線サービック京都事業所への出向命令効力停止の仮処分申請を大阪地裁に申し立てました。西さんは、エムティ出向は解除になりましたが、会社は不当にも、大阪第一運輸所に戻さず、出向先を替えたのです。第1回審尋は7月29日に行われました。西さんは「地本組織部長としての活動が阻害されている」と、会社の不当性を訴えました。

静岡地本は7月5日、静岡労政会館で第33回定期大会を開催しました。半場委員長は、挨拶で「春闘では掲示板にスロージャーンを貼り出し、地本情報を割り振り作成した。規程プロジェクトは労基署に行きアドバイスを受けた。本日、未払い請求を行う。リニア建設反対の闘いを広めよう。関西の仲間と学び、組織拡大を実現しよう」と訴えました。

伊藤書記長は、総括答弁で「ウクライナを巡る各国の意向を明確にしよう。出向撤回の闘いを丸と成って闘おう。出向先との団体交渉を継続して闘う。コロナでつづかなかつた討論の場をつくらう」と訴えました。



全ての闘いを 組織拡大に結実させよう！ 各地本定期大会 成功裡に終了



新幹線地本は6月26日、南部労政会館で第29回定期大会を開催しました。議長に石俣代議員(東京運輸所分會)を選出しました。杉澤委員長は、挨拶で

「54歳原則出向によるJR東海労を職場から放逐する攻撃に抗して、撤回を勝ち取ってきた成果を確認し、本橋さんの仮処分、出向先の労働条件改善、年休裁判、中労委命令に対する行政訴訟を闘う意思統一を図ろう」と訴えました。来賓として、本部本橋書記長、仲田弁護士、尾崎地本OB会長より挨拶を受けました。質疑では、8名の代議員から、「本橋さん、淵上さんを職場に取り戻すため共に闘う」「引継ぎ時間超勤未払い、出向特別措置の超勤単価など出



静岡地本は7月5日、静岡労政会館で第33回定期大会を開催しました。半場委員長は、挨拶で「春闘では掲示板にスロージャーンを貼り出し、地本情報を割り振り作成した。規程プロジェクトは労基署に行きアドバイスを受けた。本日、未払い請求を行う。リニア建設反対の闘いを広めよう。関西の仲間と学び、組織拡大を実現しよう」と訴えました。来賓として、本部木下委員長、此田地本OB会長より挨拶を受けました。また、本部森下企画部長より沖繩平和研修報告を受けました。

渡邊書記長は、総括答弁で「報道の自由度ランキングで日本は昨年67位で、民主党政権時代から大きく転落した。ウクライナ戦争でジャンク報道が出回り、私たちは何が正しいのか価値判断が問われる。1つの事実に対して、真実と言われるものは複数存在する。報道を鵜呑みにしてはいけません」と訴えました。

名古屋地本第32回定期大会

名古屋地本は7月17日、ワークライフプラザれあるで第32回定期大会を開催しました。

荻野委員長は「田川さんが加入した。未来を切り拓くためにがんばろう。葛西名誉会長が亡くなった後も、労政は健在。安倍元首相が亡くなったも、戦争のできる国づくりは強化される。ウクライナでは愛国心がつくられている。ぶれずに反戦・平和の闘いを展開しよう。地本30年誌は組合員の奮闘により作成できた」と挨拶しました。

新幹線関西地本第28回定期大会

新幹線関西地本は7月7日、新大阪丸ビルで第28回定期大会を開催しました。

笹田委員長は、挨拶で「田川哲史さんがJR東海ユニオンと決別し、JR東海労に加入した。大阪運輸所分會では、寄本さん池田さんに続き3人目です。田川さんの加入は、私たちの取り組みに間違いの無かったことを証明してくれた。田川さんの加入を歓迎すると共に、その決意を受け止め

はどうか」。「風規制が頻発する橋梁は風防などの対策が必要」「乗務報告アプリは入力項目が多すぎて問題」などの発言が出されました。御辺書記長は、総括答弁で「ワークライフプラザでは、労働組合員に反対をもちと訴えよう」と訴えました。

る理由があろうと、戦争には反対だ。コロナ給付金不正受給で若い社員4人が解雇された。手当の大幅削減などの背景がある。田川さんの加入で勇気と元気をもらった。会社は3世代の鉄道と称してリニアを推進しているが、他労組組合員に反対をもちと訴えよう」と訴えました。



共に闘っていく。西さんは、関西サービックス会社への出向命令の無効を求め、仮処分申立を行った。強制出向裁判プロジェクトの皆さんと共に、闘う」と訴えました。

来賓として、本部山内総務部長、定岡弁護士、新聞うずみ火矢野代表、工藤地本OB会長から連帯の挨拶を受けました。

質疑では、全代議員から田川さんの加入を喜び、共に闘うことを表明し、「車いすスロープの改善を勝ち取った」「SEKと団交を開催した」「診断書の強要に押し返す」「分会全組合員で勤務実績の開示請求を行った」などの発言が出されました。

浦谷書記長は、総括答弁で「組織拡大の成果を確認しよう。診断書強要問題で、年休は欠勤なのかを問わなければならぬ」と訴えました。

規程訂正時間を超勤として支払え!

静岡地本組合員が社長宛に未払い賃金請求

静岡地本組合員3名は7月5日、規程の訂正時間



間に費やした時間を超勤として認めないのは不当だとして、金子社長宛に未払い賃金請求書を送付しました。

職場では、訓練時間内で訂正確認を行うなど一定の改善はあったものの、今なお労働時間外で規程の訂正を行っているのが実態です。静岡地本はこの問題について、労基署に相談を行うなどの闘いを展開してきました。

退職者の苦闘を慰労

静岡地本と名古屋地本が退職を祝う会開催

静岡地本は7月5日、静岡労政会館で2019〜2021年度の60歳定年を祝う式典を開催しました。コロナ禍により3年延期となっていた式典



は、3年度合同で開催しました。60歳定年を迎えた組合員は、木村増男さん、宮澤克明さん、渡邊靖之さん、高山浩さんの4名です。主賓の4名は、鉄道生活の思い出などを



語りました。

名古屋地本は7月17日、ワークライフプラザれあるで「退職者ご苦労会」を開催しました。会はコロナ禍により延期されていましたが、各年度合同で開催しました。退職を迎えた組合員は、遠山雅彦さん、越坂武さん、宮沢正樹さん、堀部肇さん、加藤誠二さん、谷口満さん、村瀬伸次さん、中山孝宏さん、仲田和久さんの9名です。

退職者には関係が深かった組合員から花束が贈呈され、エピソードが披露されました。退職者からは、それぞれ謝辞が述べられました。

変形労働時間制は再精査

一部前向きな回答を確認

新幹線地本がシムックスと団交

新幹線地本は7月4日、組合員が出向している警備会社(株)シムックスと団体交渉を開催しました。

1ヶ月単位の変形労働時間制の上限を超える勤務シフトについて、シムックスは「問題ない」と回答しました。組合は、

「労基法に違反している。シムックス就業規則にも違反している」と指摘し、シムックスは「再精査し回答する」となりました。JR出向者は引継ぎ時間10分は勤務時間に組み込まれていますが、プロパーの警備員はサービスパワーを強いられていますが。組合は、「出向の際の就労条件では勤務時間とされていない。超過勤務としていない。超過勤務としていない職場もある。就業規則には勤務時間(始業時刻終業時刻)が明記されていない」と指摘しましたが、シムックスは「契約上10分間の朝礼時間を明示しているから問題ない」との回答に終始しました。そのため、組合側は対立を確認し、再回答が示されないならば「未払賃金請求訴訟」によって争うことを通告しました。

さいたま営業所での朝礼時間の実態や神奈川営業所での開店前準備など、サービスパワーの実態について、シムックスからは、調査した結果、これを是正するために勤務シフトの見直しと、サービスパワーについて超過勤務としてJRに報告することが確認されました。

また、警備員の装備品である白手袋や無線用イヤホンなどの個人貸与の要求については、改善に向けて検討することを確認しました。後19日に改善の報告がありました。